亀田縞（かめだじま）えぷろん隊 ファッションショー

2018

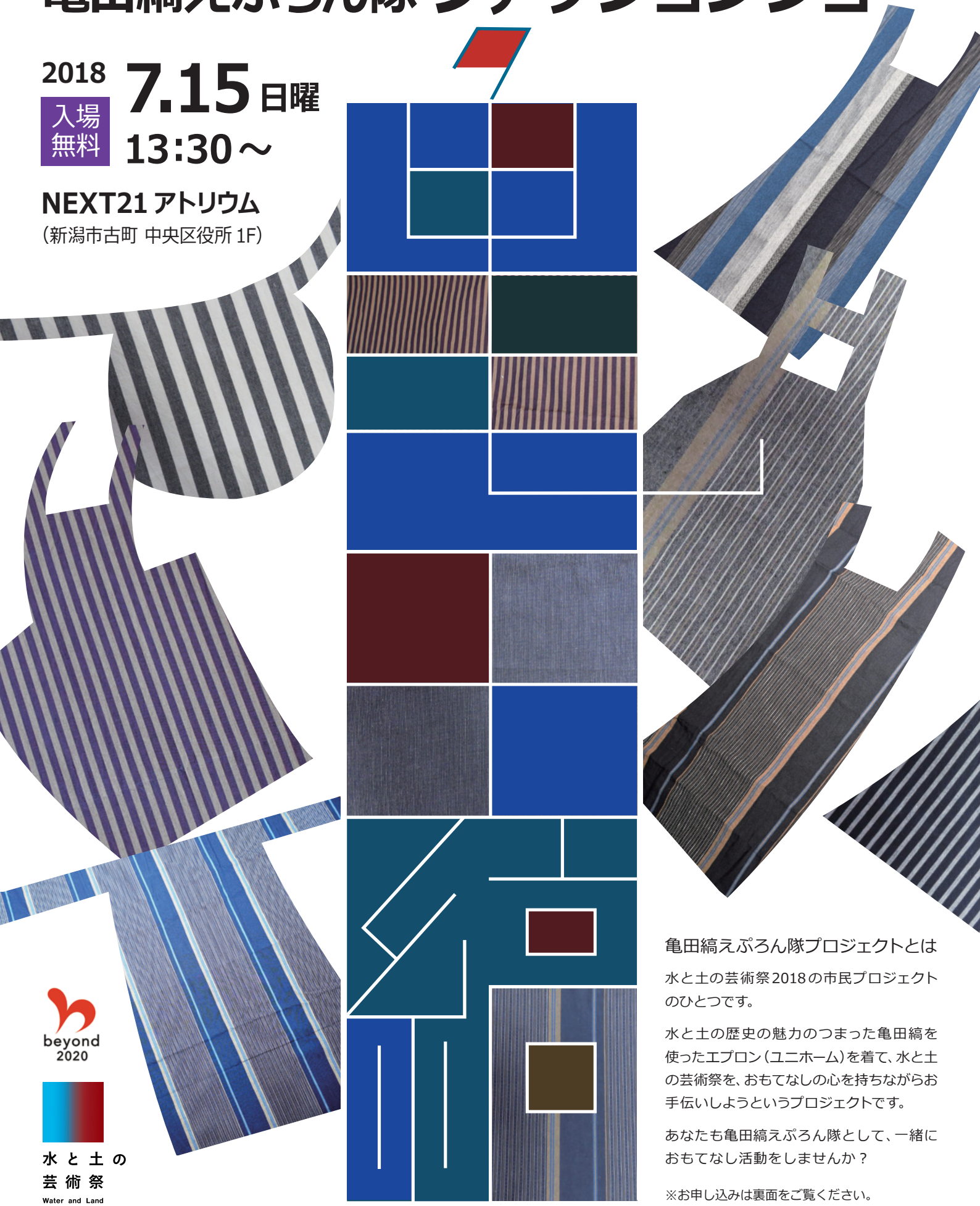
入場無料

7.15 日曜

13:30～

NEXT21 アトリウム

（新潟市古町 中央区役所 1F）



亀田縞えぷろん隊プロジェクトとは

水と土の芸術祭2018の市民プロジェクトのひとつです。

水と土の歴史の魅力のつまった亀田縞を使ったエプロン（ユニホーム）を着て、水と土の芸術祭を、おもてなしの心を持ちながらお手伝いしようというプロジェクトです。

あなたも亀田縞えぷろん隊として、一緒におもてなし活動をしませんか？

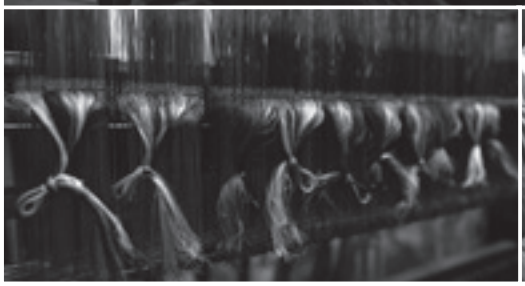
※お申し込みは裏面をご覧ください。

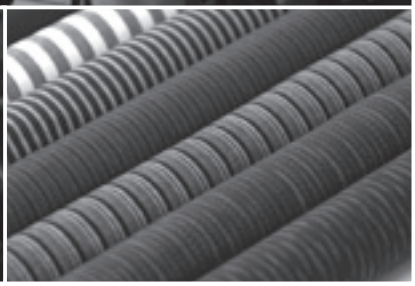
beyond 2020

水と土の芸術祭
Water and Land Niigata Art Festival 2018

主催：亀田縞えぷろん隊プロジェクト　kamedashima.apron@gmail.com

協力：亀田縞 KAMEDAJIMA　亀田繊維工業協同組合　中営機業有限会社　立川織物工場





亀田縞 かめだじま

信濃川、阿賀野川の二大河川に囲まれた
新潟市南部「亀田郷」は、かつて芦沼と呼ばれる
低湿地帯でした。ひとびとは田を拓き
腰まで水に浸かって農作業に精を出しました。
その時亀田郷の老若男女が身につけていたものが
「亀田縞」と呼ばれる綿織物。
水と泥よごれに強く、大正、昭和初期と全国に
流布しました。戦後絶えておりましたが
「縞見本帳（亀田郷資料館）」より文様復元して
平成十七年、世に明らかにすることができました。
節のある糸を織り交ぜた素朴な味わいと
太陽の下で干したような自然なシワ感。
かつて農家の女性たちの手が生み出した
健やかな風合いは、肌にこの上なく心地よく
縞木綿の底力を感じさせます。
現代によみがえったこの「亀田縞」は
新潟市江南区亀田地区の特産品の指定を受け
さまざまな分野で使い方は広がり
丈夫な仕事着として、日常の衣類として
愛され続けています。

亀田縞の組合HP: kamedajima.net

亀田縞えぷろん隊の活動

水と土の芸術祭の会期中、
関連会場やイベント会場に、また他の
市民プロジェクトから依頼があった時などに
亀田縞えぷろん隊がおもてなし活動に行きます。

どんなことをするのか？？

会場の飾りつけ、ご案内や誘導、お茶をお出ししたりなど
主催者側の方々と事前に相談しながら、おもてなし活動をします。
あなたも、亀田縞えぷろん隊に入りませんか？

※ オリジナルのエプロンがつくれます！ 2000円～。
（料金は使用する布の量、縫い方の複雑さによって変わります）
※ 貸し出し用のエプロンもあります。
（クリーニング代がかかります）
※ 応募多数の場合は、締め切る場合もあります。

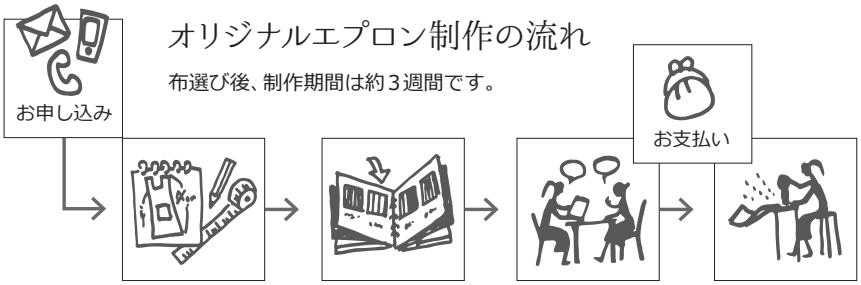
お問合せはお気軽にどうぞ！

TEL　090-6255-9556（佐藤）

✉ kamedashima.apron@gmail.com

オリジナルエプロン制作の流れ

布選び後、制作期間は約3週間です。



エプロンのデザインします → 亀田縞の布を選びます → 縫い手さんと相談します → 縫い手さんが仕上げます

完成！↓

完成したエプロンの写真は広報に使わせていただきます。

←

オリジナルのエプロンやユニフォームを発表！

← みずつちのおもてなし活動に活用

入場無料

ファッションショー 7/15 13:30～ NEXT21 アトリウム

亀田縞えぷろん隊一人ひとりが、思い思いのデザインで作ったエプロン（ユニホーム）。
そのお披露目のためのファッションショーを開催します。
さて!? どんな奇抜な？ 素敵な？ デザインがあるのか？？ 当日のお楽しみ！！
亀田縞えぷろん隊の他にも、亀田縞を使ったユニホームを採用している企業やお店などの
ユニホームもご紹介します。アトラクションとして、音楽のライブ演奏や、
亀田縞を使った製品の紹介や、販売なども予定しています。

亀田縞えぷろん隊プロジェクト　検索　亀田縞えぷろん隊 プロジェクト